

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

		予防接種費用助成			
担当部署・課長名	健康	課	予防	係	課長名 志村 明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	2 - 1	-
【施策名】 保健・医療の充実		総合計画書 (ページ)	47	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 2 予防費	事業 1 予防事業費
-----	---------	-----------	---------	------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 定期予防接種対象者のうち、やむを得ない事情により、当該予防接種対象期間内に、或いは指定医療機関で予防接種をできなかった市民	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 申請件数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 予防接種費用助成により対象者に対し、予防接種に係る経済的負担を軽減し、未接種者を減らし、対象者の疾病に対する予防を図る	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 助成件数/申請件数
	③ そのために何をしましたか。 予防接種費用助成	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 予防接種費用助成額

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
	対象指標	①の数値	件	56	120	104		
	成果指標	②の数値	%	100	100	100		
	目 標	②の目標値	%			100	100	100
		目標設定の考え方	申請者に助成し、経済的負担軽減を図る。					
活動指標	③の数値	円	444,200	923,543	687,469			

3 経費	事業費(実績)		円	444,200	927,643	695,997	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	412,200	890,643	620,997	
		特定財源	円	32,000	37,000	75,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	30.0	50.0	50.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	126,000	210,000	210,000	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	570,200	1,137,643	905,997		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 定期予防接種対象期間にやむを得ない事情により接種できなかった場合に、予防接種に係る経済的負担を軽減し、未接種者を減らし、疾病に対する予防を図るために開始した。平成23年度より、定期予防接種のうちBCGとMRを対象とし、平成25年度より、定期予防接種全種類に拡大し、上限額を5,000円とした。平成27年度より、上限額を当市定期予防接種委託料の単価まで増額拡大した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 生後2か月という早い時期からの接種する予防接種が増えたこと、里帰りの長期化が増えたこと等様々な理由で指定医療機関での実施が困難な状況がみられることから、平成25年度より、助成対象定期予防接種を全種類へ拡大し、助成額を当市委託料単価まで引き上げた。

仕 事 の 内 容	予防接種費用助成			
担当部署・課長名	健康	課	予防	係 課長名 志村 明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	東大和市医師会から、B型肝炎任意予防接種についての費用助成による接種率の向上を図るよう助言があった。			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
なし				
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容			
	B型肝炎任意予防接種については、すで全額自己負担により接種した方との公平性に配慮が必要となる。また、定期予防接種の実施期間後の費用助成の内容について、長期療養等で接種できなかった場合の特例もあることから、見直しについて検討する。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期予防接種の市外接種は、市民が滞在する自治体の公費負担や実施医療機関から市に直接請求がされるケースから、自己負担で接種した費用に対する助成（償還払いの意味合い）の割合が急増しているため、今後も事業費増加の可能性はある。</li> <li>B型肝炎任意予防接種について、平成30年度に3歳になる幼児について費用助成を開始した。</li> </ul>			
(3)(2)を踏まえた今後の課題				
<ul style="list-style-type: none"> <li>里帰り期間の長期化と生後2～3か月に実施する予防接種が多いことから、里帰りによる市外接種への費用助成は今後も増加の見込みであるが、乳児が計画的な予防接種を実施するためには必要な制度であるため継続する。</li> <li>B型肝炎任意予防接種の費用助成については、31年度は5歳児を対象として実施し、これをもって終了する。</li> <li>定期予防接種期間終了後の任意予防接種の費用助成については、事業を検証し、改善について検討して行く。</li> </ul>				
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>里帰り期間の長期化と生後2～3か月に実施する予防接種が多いことから、里帰りによる市外接種への費用助成は今後も増加する見込みであるが、計画的な予防接種を実施するためには必要な制度であるため継続する。</li> <li>定期予防接種期間終了後の任意予防接種の費用助成については、事業を検証し、改善について検討して行く。</li> </ul>			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期予防接種の市外接種で、公費負担を行わない自治体についての動向を把握しておく必要がある。</li> </ul>			
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は削減する。